

ニューズレター

No.71

2013年 5月28日

目 次

	ページ
お知らせ・行事案内	
総会のお知らせ	1
総会議案書	
事業報告	
決算案	3
事業計画	4
予算案	5
県内自然保護ニュース	7
神奈川県自然保護協会からのお知らせ	8

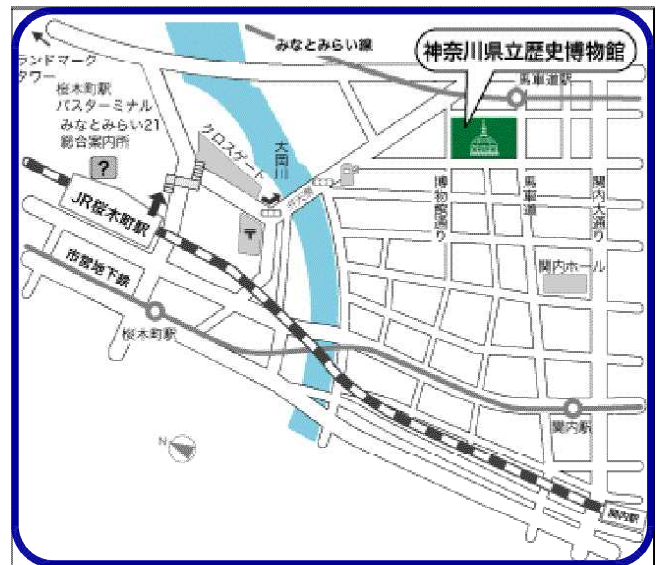
神奈川県自然保護協会 総会のお知らせ

- 1 日 時 2013年6月15日(土) 13時30分より
- 2 会 場 神奈川県立歴史博物館 講堂
- 3 日 程
 - 13時30分より
2013年度定期総会
 - 14時30分より
講演会 「森への思い(仮)」
講師 井伊 秀博 氏
水源環境保全・再生かながわ県民会議
事業モニターチームリーダー
 - 15時15分 閉会予定

会場案内

(横浜市中区南仲通 5-60)

- みなとみらい線 「馬車道駅」から徒歩1分
出口[5]馬車道口からエスカレーターをご利用になると便利です。
- JR 「桜木町」駅、または、「関内」駅北口から徒歩8分
- 市営地下鉄線 「関内駅」[9]番馬車道口から徒歩5分、「桜木町駅」から徒歩8分



2013年度(第10回)神奈川県自然保護協会総会 議案書

第1号議案 2012年度事業及び決算報告(案)及び監査報告

1 事業の成果

- ・ 2010年に名古屋で生物多様性条約締結国会議COP10が開催されたものの、2011年の東日本大震災及びそれに伴う原子力発電所の事故により、生物多様性保全への社会の関心が薄まったくらいがあったものの、保全の必要性は薄れたわけではない。本協会としては多くの県民の協力の下、生物多

様性ホットスポット選定の作業を進めた。また、津波防災と景観保全の立場から活動を始めた湘南緑の協議会の活動に係わったり、厚木市で進められた生物多様性地域戦略策定にも関わるなど、従来の活動に加えて幅を広げることができた。一方、課題として横浜市栄区の瀬上沢での開発計画や、渋沢丘陵の大規模墓地開発計画など、県内の自然の危機は未だに

存在していることへの対応や、生物多様性保全の必要性について広く県民一般に対する啓発活動を一層進めることがあげられる。

2 事業内容

(1) 自然保護に関する普及啓発事業

ア シンポジウム・講演会開催事業

・講演会「神奈川の自然への思い」

6月16日 神奈川県立歴史博物館

講師 新堀豊彦氏 前本協会理事長

参加者 約70名

イ 自然研修会開催事業

県内の自然が直面している問題を取り上げ、公開勉強会としてその問題点と行政による対応について学ぼうという企画で1回開催した。

「第2期を迎えた丹沢大山自然再生計画」

10月19日(金) 会場 海老名市文化会館小ホール

「丹沢大山の自然再生に向けた取り組みについて」

講師 厚沢明宏氏(神奈川県自然環境保全センター)

「植生保護柵の効果～取り組みの事例紹介～」

講師 田村 淳氏(神奈川県自然環境保全センター)

参加者約60名

ウ 自然観察会

・子ども・初心者・マニアも楽しい自然観察会

「境川遊水地に遊ぶ」 5月12日 参加者10名

境川に沿って春の植物や昆虫や、野鳥及び遊水地建設に当たって発見された化石群やその地史的なことを、グリーンタフ蛸子貞二氏の案内で見学観察。グリーンタフとの連携企画。

・子ども・初心者・マニアも楽しい自然観察会

「湧水の里・鈴鹿長宿の街並みと座間谷戸山公園の自然」 9月30日 参加者10名

座間駅付近の段丘崖下にわき出す湧水群をたどりながら、自然と調和した街並み、見られる花や昆虫をグリーンタフ天内康夫氏の案内で観察しながら、谷戸山公園に行った。谷戸山公園では職員との公園管理についての説明を聞き見学した。ただ、この日は夕刻から台風の接近が伝えられ、予定を早めて解散することになった。

以上の2件は本年度グリーンタフ(神奈川県自然観察指導員連絡会)との連携事業。

・「大地はダイナミックに動くものだー松島先生が案内する神奈川の地形と地質ー鎌倉・横浜南部編」

参加者が多く見込まれることから2回実施で計画を立てた。2013年3月6日 3月14日。

大船駅から貸し切りバス利用。参加者 両日で36名

エ カナダガン対策事業

日本野鳥の会神奈川支部、かながわ野生動物サポートネットワーク、日本雁を保護する会等が行う外来種カナダガンと在来種シジュウカラガンの交雑を防ぐ活

動にセブンイレブン緑の基金の助成金を得て資金援助した。

オ 生物多様性ホットスポットワーキング

神奈川の生物多様性保全を推進するために、民間レベルでの選定やその保全、県内の生物多様性の保全に関わる行政の施策への提言などを目標とする活動。県民から57箇所の申請があり、現在は委員により追加等も含めてまとめの作業を行っている。

カ 啓発事業

・アジェンダの日啓発イベント

かながわ地球温暖化防止センター主催で県庁脇、日本大通りにブース出展6月2日、3日

・「生物多様性を活かした地域づくりの今～身の回りの自然から地域の未来に向けて～」2013年3月10日

日本自然保護協会と共催で、県立近代文学館ホールでシンポジウムを開催。参加者は鹿児島県や北海道からもあり、スタッフを入れて130名参加。

・この他協力したもの。

神奈川県立青少年センター主催「子ども・若者と自然のフォーラム」会場に青少年活動に係わるものを中心にした展示ブース出展

キ 啓発誌「かながわの自然」66号発行

会員に配布の他、有隣堂各店に配本。

ク 情報誌発行事業

・ニュースレター NPOとしての活動に関する広報、行事に関する広報、県内の自然保護に関する情報、神奈川県環境行政の動向に関する情報を内容として5回発行した。(No.65~No.69)67号以降は県の記者発表、関係新聞記事見出し分を別冊とし、本体は啓発用として配布しやすいようにした。

A4版 総ページ数 204ページ

ケ ホームページの運営

更新が滞っている。今後の課題。

(2) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動

ア 野生動植物保全フォーラム

同フォーラム運営委員会により、12月9日、厚木市文化会館で開催した。

テーマ：豊かな自然の保全・再生

＝外来生物の現状を考える＝

基調講演：外来種問題と駆除の実践から

神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員 苅部治紀氏
各地からの報告：

厚木市やその周辺の外来植物の現状

厚木植物会 長岡 恂氏

愛川町尾山耕地のアメリカザリガニ対策

あいかわ自然ネットワーク 諏訪部 晶氏

神奈川県のアライグマ問題

NPO法人 三浦半島生物多様性 金田正人氏

参加者110名

イ 行事の後援

・鎌倉若宮大路のクリーングリーン運動(鎌倉緑の会：5月27日開催)

・江ノ島モース祭(モース研究会：5月27日開催)

- ・シンポジウム相模湾側の地震と津波（三浦半島活断層調査会主催 他の後援者 逗子市教育委員会、鎌倉市、鎌倉市教育委員会、葉山町・葉山町教育委員会、横須賀市、横須賀市教育委員会、三浦市、三浦市教育委員会、藤沢市 2月16日開催）

・川名自然フォーラム主催行事

- 第46回公開例会 5月27日
これは驚き!!クモの多彩さ 池田博明氏
- 第47回公開例会 7月7日
虫たちから元気を 小口岳史氏
- 第48回公開例会 9月29日
私たちと動物たちのつながり 村田浩一氏
- 第49回公開例会 11月9日
ズーラシアバックヤード見学会
- 第50回公開例会 1月27日
社会性ハチ類と生物多様性 小野正人氏

・渋沢丘陵霊園建設計画に関して

反対意見広告：10月中旬、地元ミニコミ紙「タウンニュース」秦野版に他団体と連名でシンポジウム後援：3月10日開催「渋沢丘陵を考える会」主催

・瀬上沢開発計画に関して

署名カンパ活動：3月6、14日に行った鎌倉・横浜南部地学観察会が現場も対象としていたので、参加者に対して「ホテルのふるさと瀬上沢基金」代表角田氏外による説明の機会を作り協力した。
その他、下に述べる副知事懇談会でも渋沢丘陵と共に話題として取り上げ、できる範囲で県からの働きかけを要請した。

(3) 行政他への働きかけ・協働

- ・総会で採択されたアピールの伝達と、県内自然保護問題の全般的な問題提起のために、黒川神奈川黒川副知事、他担当幹部との懇談を行った。2012年7月27日
文書等提出

- 2012年8月16日 秦野市渋沢・峠地区における大規模霊園造成計画についての意見
- 2013年2月7日 小出川 神奈川県緊急財政対策における県有施設の見直しについて（要望）
- (4) 2011年度・役員が協会代表として行政および他機関の役職についたもの。

(藤崎理事長)

- ・NPO法人かながわアジェンダ推進センター副代表
- ・小網代の森保全対策協議会委員
- ・かながわ地球環境保全推進会議委員

(新堀前理事長)

- ・丹沢大山自然再生委員会副委員長
- ・神奈川県鳥獣総合対策協議会会長

(青砥副理事長)

- ・神奈川県環境審議会委員
- ・環境農政局主管公共事業評価委員会委員
- ・水源環境保全再生かながわ県民会議委員
- ・厚木市生物多様性地域戦略検討委員会副委員長

(相原理事)

- ・神奈川県愛鳥ポスターコンクール審査員

(花上友彦元理事)

- ・厚木市生物多様性地域戦略検討委員会委員

(長岡 恂運営委員)

- ・厚木市生物多様性地域戦略検討委員会委員

3 事務局体制

(運営組織)

活動の広がりに伴い作業量が多くなることに対応して、役員の役割分担を明確にするための組織体制の確立に努めた。

4 会議の開催

総会 6月16日 神奈川県立歴史博物館
理事会 7, 10, 1, 4の各月第2火曜日
運営委員会毎月 第2火曜日

2012年度決算（案）

科 目	金 額 (円)			備 考
	予算	実績	増減(△減)	
I 収入の部				
1 会費・入会金収入	800,000	709,000	△91,000	会費 内過年度分 40,000-
2 事業収入				
(1) 自然保護に関する普及啓発事業	2,020,000	1,992,500	△27,500	
ア シンポジウム・講演会開催事業	(0)	(0)	(0)	
イ 公開勉強会開催事業	(0)	(0)	(0)	
ウ 自然観察会開催事業	(220,000)	(192,500)	(△ 27,500)	参加費
エ その他事業	(1,800,000)	(1,800,000)	(0)	カナダガン調査
(2) 刊行事業	0	0	0	
ア 啓発誌発行事業 1	(0)	(0)	(0)	
イ 啓発紙発行事業 2	(0)	(0)	(0)	
ウ ホームページの開設事業	(0)	(0)	(0)	
エ その他	(0)	(0)	(0)	
(3) 他団体との協働・支援	0	0	0	
3 寄付金	110,000	132,660	22,660	
4 県費負担金	230,000	230,000	0	
5 雑収入・源泉所得税預かり金	10,000	12,159	2,159	
6 未収金	0	0	0	
今期収入合計 (A)	3,170,000	3,076,319	△93,681	

預かり金	0	65,000	65,000	13年度以降前受け会費
前期繰り越し収支差額	623,223	623,223	0	
収入合計(B)	3,793,223	3,764,542	△28,681	

II 支出の部				
1 事業費	3,371,248	2,946,198	△425,050	
(1) 自然保護に関する普及啓発事業	275,000	244,629	△30,371	
ア シンポジウム・講演会開催事業費	(25,000)	(34,502)	9,502	講師謝礼・会場費
イ 公開勉強会開催事業	(40,000)	(30,190)	△9,810	講師謝礼・会場費
ウ 自然観察会開催事業	(210,000)	(163,957)	△46,043	講師・スタッフ謝礼・バス借り上げ
エ 啓発ブース出展費用	(0)	(15,980)		
(2) 刊行事業	1,139,248	747,940	△391,308	
ア 啓発誌発行事業 1	(900,000)	(483,000)	△417,000	神奈川の自然 66号
イ 啓発紙発行事業 2	(200,000)	(264,940)	64,940	ニュースレター 65号～69号
ウ ホームページの運営事業	(31,248)	0	△31,248	未払い
エ パンフレット作成	(8,000)	0	△8,000	未作成
(3) その他事業	(1,800,000)	(1,800,000)		カナダガン調査・
(4) 他団体との協働・支援	122,000	95,989	△26,011	
ア 野生動植物保全フォーラム	(110,000)	(73,989)	△36,011	会場費・協力者謝礼・チラシ印刷他
イ 他団体会費	(12,000)	(22,000)	10,000	丹沢大山再生委員会。丹沢ボラネット、湘南緑の協議会
(5) 研究費	35,000	57,640	22,640	資料購入代 ホットスポットワーク
2 管理費	373,000	281,576	△91,424	
(1) 役員報酬	0	0	0	無償
(2) 事務局人件費	0	0	0	無償
(3) 備品費	100,000	0	△100,000	償却費積立未了
(4) 消耗品費	35,000	85,765	50,765	事務用品・会議資料用紙代
(4) 役務費	18,000	9,517	△8,483	コピー代・リソグラフカード他
(5) 交通費	65,000	56,790	△8,210	交通費・駐車料・仙台視察費
(6) 通信費	30,000	31,380	1,380	連絡郵送代・行事開催連絡他
(7) 会議費	115,000	93,680	△21,320	役員会会場費・弁当代
(8) 雑費・源泉所得税納入	10,000	4,444	△5,556	講師謝礼
3 予備費	9,205	0	△9,205	
4 事業積立	0	0	0	
5 未払い金	39,770	0	△39,770	
当期支出合計(C)	3,793,223	3,227,774	△565,449	
当期収支差額(A) - (C)		△151,455		
次期繰越収支差額(B) - (C)		536,768	内 前受け会費預かり分 65,000-	未払い金 71,018-

2012年度 監査報告 (案)

総会において報告があります。

2013年 6月 日

監事 高橋 秀男 印

監事 大野久良夫 印

第2号議案 2013年度 事業計画及び予算 (案)

1 事業活動方針

本年度活動のテーマ「森」

啓発誌の発行や、講演会の開催、公開勉強会・観察会等の企画、自然調査活動を通して神奈川県の実地環境の特質を理解し、よりよい保全の在り方を追求する活動を行う。

推進に当たっては、1012年度事業報告で指摘した課題、地域開発計画への対応や生物多様性保全の啓発を意識したものとする。

活動は単独あるいは他団体との連携を通し話題性のある内容をめざし、活動の場をできるだけ県内各地に広げ広報活動も充実させるなど県民への知名度を高め、より

効果的なものとなるよう努力する。

これらの活動を充実させるために、より活性化するよう組織体制の見直しを進め、財政基盤強化の方策も探る。

2 事業内容

(1) 自然保護に関する普及啓発事業

ア シンポジウム・講演会開催事業

県下で今日的課題となっている自然環境問題について、テーマを設定しその問題について造詣の深い有識者を講師とするシンポジウムや講演会を一般県民を対象に開催し、問題の啓発を図ると共に、解決への方策を探る。

- ・講演会 日時2013年6月15日 14:30-15:30
講師 井伊秀博氏
- ・シンポジウム
機会を捉えて随時
- イ 公開勉強会開催事業
県内の自然保護を巡る問題、及び神奈川県民がかかえる自然保護に関する課題について、専門家や行政の担当者への講話を聞いたり討論したりする事を通して、神奈川県土の自然保護及び神奈川県民の意識の向上に寄与する。
- ウ 自然観察会
 - ・県内
地形・地質観察会 3月 等随時
自然観察指導員連絡会（グリーンタフ）との共同観察会 2回
自然保護の現場見学会 「湘南の海岸林」
他随時
- エ 厚木市生物多様性地域戦略事業協働
厚木市が策定した「生物多様性あつぎ戦略」実施に当たり、野生動植物保全フォーラム運営委員会を中心にその実施を協働で行う。
 - ・野生動植物保全フォーラム
11月30日、12月1日
 - ・厚木市民向けに生物多様性を感じるエコツアーを3回実施する。「川のめぐみ」「里のめぐみ」「山のめぐみ」
 - ・厚木市立妻田小学校ピオトープづくり。
- オ 鎌倉和賀江島対策検討

(2) 広報・刊行事業

- ア 啓発誌発行事業 1
啓発誌「かながわの自然」67号
多くの県民に親しんでもらえるような楽しく、啓発的な内容とし、多くの県民への広報を目的とする。
- イ 啓発誌発行事業 2
情報紙「ニュースレター」
NPOとしての活動に関する広報
行事に関する広報／県内の自然保護の動きに関する情報／神奈川県環境行政の動向に関する広報など隔月を目標に発行する。
- ウ ホームページの運営
印刷物では行き渡らない情報発信の場として、ホームページの充実に努める。
- エ 県内の自然や、本協会の活動を広報するポスターの内容の充実に努め、機会を捉えて掲出する。

オ その他必要に応じて、協会紹介パンフレットづくりなど行う。

(3) 他の団体等との協働・連携や支援に係わる活動

- ア 野生動植物保全フォーラム開催（再掲）
県内で野生動植物の保全再生活動を行う個人・団体、組織等の関係者が集まり、意見や情報の交換を行う。（厚木市との協働）
 - ・日時2012年11月30日、12月1日
 - ・会場 厚木市文化会館 小ホール、展示室
映画上映と生物多様性の今を語る。
映画「流れ」
県内活動団体からの報告
ポスター展示及びポスターセッション
- イ 専門家派遣事業
 - ・内容 協会会員のうちで自然に関する各分野の専門家を、必要とする団体等に対し指導・協力者として派遣・及び機材の貸し出しをする。
 - ・場所 県内各地
 - ・人材バンク構築のための講師登録推進と登録された講師のPR
- ウ その他 必要な活動

(4) 県内自然の諸問題に対する調査・研究

- ・神奈川県内自然ホットスポットプロジェクト
県内の自然の状況について把握し評価する事業を、関係団体、機関に呼びかけて段階的に実施する。
- ・他 自然全般

(5) 行政への働きかけ・協働

県内各地で起きる自然破壊、自然保護上の問題に対する要望、意見書の提出。

3 事務局体制

資料印刷・現金出納・行事实施など協力者募集 理事も事情が許す限り、運営メンバーとして運営委員会に参加し実行体制の強化にかかわる。

4 会議の開催

総会 6月15日 13:00 神奈川県立歴史博物館講堂
理事会 年4回
運営委員会 (各月第二火曜日、1月のみ第三火曜日 18:30~)
会場：かながわ県民センター会議室
どなたでも傍聴自由です。

2012年度予算(案)

科 目	金 額 (円)			備 考
	前年度実績	本年度予算	比較(△減)	
I 収入の部				
1 会費・入会金収入	709,000	740,000	31,000	過年度分未納入分請求強化
2 (1) 自然保護に関する普及啓発事業	192,500	60,000	△132,500	

ア 自然観察会開催事業	(192,500)	(60,000)	(△ 132,500)	参加費（交通費の他 1 名 1,000 円）
(2) 受託費・補助金	1,800,000	1,420,000	△ 380,000	
ア 保全事業	(0)	(1,420,000)	(1,420,000)	トラストみどり財団 厚木市
イ その他	(1,800,000)	(0)	(1,800,000)	かががソ対策事業セゾルブ助成金
3 寄付金	132,660	150,000	17,340	一般寄附及び書籍譲渡見返
4 負担金	230,000	230,000	0	神奈川県負担金
5 雑収入・源泉所得税預かり金	12,159	10,000	2,159	
当期収入合計(A)	3,076,319	2,610,000	△466,319	
預かり金（前受け会費）	65,000	0	△65,000	
前期繰り越し収支差額	623,223	536,768	△86,455	
収入合計(B)	3,764,542	3,146,768	△617,774	

II 支出の部				
1 事業費	2,946,198	2,805,248	△140,950	
(1) 自然保護に関する普及啓発事業	244,629	640,000	395,371	
ア シンポジウム・講演会開催事業費	(34,502)	(35,000)	(498)	
イ 公開勉強会開催事業	(30,190)	(30,000)	(△ 190)	2 回開催予定
ウ 自然観察会開催事業	(163,957)	(60,000)	(△ 103,957)	グリーンタフ連携観察会他
エ 啓発ブース出展費	(15,980)	(15,000)	(△ 980)	
オ エコツアー実施事業	(0)	(500,000)	(500,000)	厚木市民対象
(2) 保全事業	1,800,000	770,000	△ 1,030,000	
ア ピオトーク作製事業	(0)	(770,000)	(770,000)	厚木市妻田小学校
イ その他事業	(1,800,000)	(0)	△ 1,800,000	カナダガン対策
(3) 刊行事業	747,940	1,158,248	1,046,248	
ア 啓発誌発行事業 1	(483,000)	(900,000)	(417,000)	かながわの自然 66、67 号
イ 啓発紙発行事業 2	(264,940)	(220,000)	(△ 44,940)	ニュースレター
ウ ホームページの運営事業	(0)	(31,248)	(31,248)	12 年度未払い
エ その他印刷物作成事業	(0)	(7,000)	7,000	パンフレット・ポスターなど
(4) 他団体との協働・支援	95,985	172,000	76,011	
ア 野生動植物保全フォーラム	(73,989)	(150,000)	(76,011)	会場費・資料印刷製本費 他
イ 他団体会費	(22,000)	(22,000)	(0)	
(5) 研究調査費	57,640	65,000	7,360	生物多様性ホットスポットプロジェクト他
2 管理費	281,576	267,000	△14,576	
役員報酬	0	0	0	無償
事務局人件費	0	0	0	無償
備品費	0	40,000	40,000	備品償却費
消耗品費	85,765	50,000	△35,765	事務用品・会議資料用紙代
役務費	9,517	9,000	△517	コピー 宅配便送料等
交通費	56,790	40,000	△16,790	旅費・駐車料
通信費	31,380	30,000	△1,380	連絡郵送代・行事開催連絡他
会議費	93,680	94,000	320	役員会会場費・弁当代
雑費・源泉所得税支払い	4,444	4,000	△444	
3 事業積立金	0	0	0	
4 昨年度分未払い金	0	71,018	71,018	HP管理費11.12年度
5 予備費	0	3,502	3,502	
当期支出合計(C)	3,764,542	3,146,768	△617,774	

神奈川の自然 在庫 307 冊 別途50周年事業積み立て¥ 2,215,000- 備品償却積み立て¥ 450,000-

第3号議案 役員選任

総会において提案させていただきます。

第4号議案 その他

総会アピール案

言うまでもなく森林には6つの大きな機能がある。

- 1 に水源涵養機能
- 2 に土砂災害防止機能
- 3 に林産物提供機能
- 4 に保健休養機能
- 5 に野生生物生育場所機能
- 6 に大気保全機能

である。

- 1 の水源涵養機能と2の土砂災害防止機能は我々の命に関わるものである。
- 2 の林産物提供機能、4の保健休養機能は我々の生活の質を向上に役立っている。
- また、6の大気保全機能は二酸化炭素吸収による地球温暖化防止機能のことであり、5の野生生物生育場所提供機

能と共に、地球生態系保全に必要な機能であり、子孫へ伝える責任を負っている。

神奈川県は首都圏にあって都市化が進み、1人当たりの森林面積は丹沢や箱根を含めても106平方メートルしかない。これを平地部に限って言えば、10平方メートルに及ばない市や町が多い。

箱根地区や丹沢大山地区は国立公園や国定公園として保全の仕組みができており、また丹沢大山自然再生計画や、水源環境保全再生計画により道半ばとはいえ手立てが講じられている。私たちは共に、この一層の推進に参加するのは当然のことである。

神奈川県内自然保護ニュース

(このページに掲載する情報をお寄せください。)

厚木市立妻田小学校で **ビオトープ**を作っています

前号でお知らせした、厚木市の生物多様性戦略に関わる事業に関連して、県自然保護協会が計画してビオトープづくりを進めています。

かかる経費は、(公財)かながわトラストみどり財団がローソンが設ける「緑と水の森林基金」を受けて行う学校環境緑化モデル事業による資金と、厚木市による助成金を合わせたもので賄います。

小学校のある妻田地区は、その名の通り昔は水田地帯だったようで、学校の校章はこのような自然を象徴する種、デンジソウをデザインしたものです。

妻田小学校内に水辺ビオトープを造成するにあたり、かつてあった自然の片鱗を蘇らせ、児童の情操向上、自然体験や自然環境学習に資することを直接の目的とし、更には付近の小鮎川、中津川などと連携する緑の回廊の一部として、厚木市内の生物多様性向上にも寄与することを目標にしました。

実際の計画は次のようなコンセプトで行いました。

- 1 本来神奈川県中央地域にあった自然を復元することを目的とするため、外来生物については、国外外来種、国内外来種を問わず持ち込まないこと。
- 2 厚木市の生物多様性向上の一部を担う事も意図するため、持続性のある計画とする。
そのためには、児童や保護者を含めた学校関係者、地域の人達の理解や参加をできるだけ求めたい。造成、特にここで育てるものについては、児童参加体制の元に計画し、完成後の管理についても同様とする。
- 3 水の循環などに必要なエネルギーは、地球温暖化防止活動の実践を意図して自然エネルギーで賄う。併せて、このことが環境学習の一環となることを期待する。また、水についても雨水を利用することが好ましい。
- 4 使用する木材は、丹沢大山自然再生事業で、生産された間伐材を利用。
- 5 自然環境学習に寄与することが主たる目的であること

問題なのは量的に少ない平地にある森林である。面積が少なければ、それだけ貴重であり、緑のオアシスとしての価値が高い。

私たちは身の回りにあるこのような森林に目を向け、地域の住民と協力して更に質の高いものとなるよう手立てを考えると共に、危機に瀕しているものがあれば保全のための策を考え行動する。

以上を通して神奈川県が自然環境と共生する県として他に誇れるものとなるよう活動することを宣言する。

から、児童にとって近づきたい場所にならないよう、生育生息する動植物と触れあうことが容易となる設計を心がける。

6 4に拘わらず、水のある空間は不慮の事故が皆無とは言えないことから、設計やその後の管理において安全性には十分心がけるものとする。

場所の制約から、狭いものではあるのですが、児童による話し合い、PTAの方々による度々の勤労奉仕によって盛り上がっています。

完成するのは6月15日の予定です。



保護者の皆さんや子どもたちも参加した作業風景

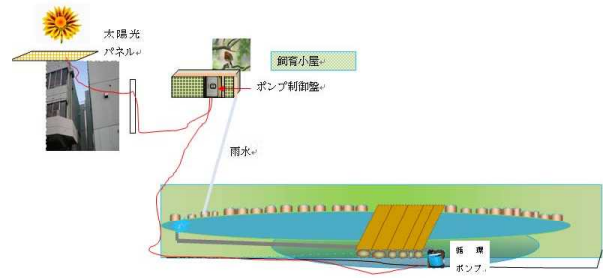


丹沢大山自然再生事業による間伐材

(株)サントリーさんのご厚意でいただきました。

今後植栽など生物の導入が進みます。実は完成式＝出発式でもあります。

今後の経過は、時々報告したいと思います。



神奈川県自然保護協会からのお知らせ

本会の運営は、みなさまのお気持ちに支えられています

本協会の会員を増やすことにご協力ください

活動に当たって、それを大勢の方々の気持ちが支えている・大勢の方々の気持ちを代表していることが肝心です。この大勢は多いほど力になります。会員が多ければ多いほど力強くなります。協力をお願いいたします。

会の運営に協力して下さる方を探しています

経理の技術を持った方（会計規模はこの号に掲載している程度）、会報などの編集に興味のある方、ホームページの運営をお手伝いいただける方、行事等の広報をしていただける方、各種行事の企画を共に考えていただける方、

後援行事のお知らせ

川名自然フォーラム 第53回公開例会

—まちなかの鳥たち—

日時：6月29日（土）14:00～16:00（13:30より受付）
会場：藤沢産業センター7階第2会議室（藤沢駅北口郵便局隣）
講師：葉山嘉一氏（日本大学生物資源科学部准教授）

藤沢駅南口から15分ほどの川名緑地一帯は、身近で豊かな自然環境から多くの市民の皆さんに愛され親しまれ、また市民共有の財産としてさまざまな保全活動が行われています。

自然を学ぶ川名フォーラム第53回例会は日本大学生物資源科学部で教鞭をとっておられる葉山嘉一先生をお迎えして身近な鳥についてお話を伺います。

NPO 法人の登記事務等に明るい方・・・

この中のどれかひとつでも協力していただける方がいれば助かります。

会員の方へ。会費の納入の時期になりました

この号に会費納入状況のお知らせと振替用紙を同封しました。

よろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行に口座をお持ちの方は無料で送金する方法があります。

郵便局のATMを使い、振込用紙は使わずに、直接振込先記号、番号を指定します。

記号 002300 番号112653 です。

葉山先生は、鳥類に関する豊富な知識と経験から国内外で様々な活動をされておられます。里山の管理・丹沢大山の調査をはじめ各地の調査に携わり、数々の論文・報告書などにまとめていらっしゃいます。

また2012年に始まった藤沢市の自然環境実態調査では全体の責任者として多分野にわたり惜しみない助言をしておられます。

今回は、現場経験豊富な先生ならではの「興味深い」お話をたくさんお聞きします。

主催：川名自然フォーラム

後援：神奈川県自然保護協会 日本野鳥の会神奈川支部・日本鳥類保護連盟神奈川支部・藤沢探鳥クラブ 丹沢自然保護協会・神奈川県植物誌調査会藤沢グループ・川名里山レンジャー隊・藤沢グリーンスタッフの会・辻堂タイムズ（申請中含む）

ニューズレター 71号

特定非営利活動法人

神奈川県自然保護協会

<http://www.eco-kana.org>

郵便振替口座 00230-0-112653 銀行からの振り込みは ゆうちょ銀行(9900) 029 (セキキウ)店 当座 0112653

2013年 5月28日発行

〒243-0816 厚木市 林 5-15-10 青砥方

TEL&FAX 046-222-2356

Eメール: nacs-kana-office01@eco-kana.org